



全く水を使わないタバコ消火システム [ゼロウォーターシステム]

無水消火システムが吸殻回収の世界を変える

省力化、環境への配慮を同時実現！

有限会社アメニックスが手掛ける唯一無二のメカニズム「ゼロウォーターシステム」。

店内で喫煙するためには、喫煙室（ブース）と「灰皿」が必ず必要だ。来店客のことを考えれば、簡易灰皿ではなくスタンド型やカウンター型といった収納量の多いものを設置するのが好ましい。

アメニックスが手掛ける喫煙カウンター「スモカ」と、喫煙スタンド「スモス」は、来店客のみならず、従業員のことも考えられた「ゼロウォーターシステム」を搭載。回収ボックス内には、水が一切入っておらず、2つの吸熱ゴムローラーが、「押す+潰す+ずらす」の3工程で無酸素状態を作りだし、完全にタバコの火を消火。水がない分、約1000本もの吸殻を収納することができ、吸殻回収時は燃えるゴミとして捨てるだけと簡単。廃液も出ないため、悪臭が漂うこともない。回収作業の効率化と環境改善がこれ一つで



「スモカ」は、その名の通りカウンター型のため、新幹線の喫煙ルームのように狭いスペースでも有効活用できる。

きる優れたものだ。

さらに、異物混入にも対応。近年増えてきた電子タバコのPICO TECHのケーブルのほか、アイスの棒といったものまでカバー。灰皿内に混入したとしても、ゴムローラーはそれぞれスピード

が異なるため、エアポケットが出ない仕組み。吸殻は完全消化され、異物も収納ボックスまで搬送されるようになっていく。両製品を使い分けるポイントとしては、喫煙室のサイズが重要だ。例えば新幹線の喫煙ルームのよう

に、狭いスペースを有効活用するにはカウンター型の「スモカ」がおすす。L型、R型といった形状にも対応する。もちろん、スペースの広いブースにもおすすだが、その際には「スモス」と同時に設置することで、より多く喫煙できるスペースを確保することができ

一方、同社の喫煙ブース「スモブー」は、ブースの出入り口の風速0.2m/秒という技術水準は当然クリアしている。加えて、空気清浄機や人感センサーなどを標準装備し、ハイレベルな脱臭除菌メカニズムを実現している。さらには、オゾン脱臭機「エアフィーノ」を設置することで、ブース内の臭いの元を強力に分解。セットで設置することで最高のパフォーマンスを発揮するものとなっている。

ゼロウォーターシステム

全く水を使わないタバコ消火システム

喫煙カウンター
スモカ

喫煙スタンド
スモス



ハイグレード
各種オプション設定あり



ハイグレード

2020年、新しい喫煙環境に向けて

スモキングブース
スモブ



喫煙ブース内用壁掛けオゾン脱臭機
エアフィーノ



吸殻回収装置の有効活用

